



◆ はじめに

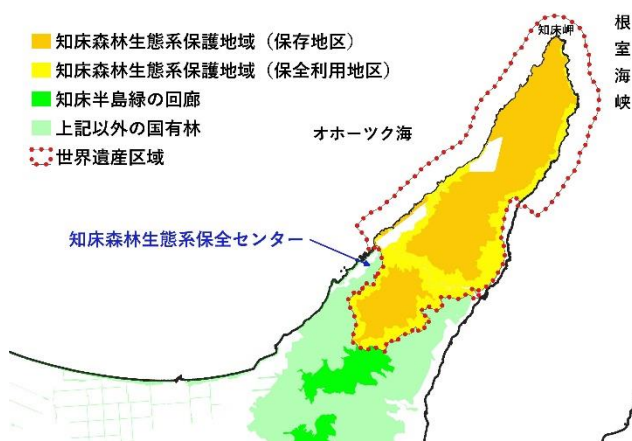
知床半島は北海道東部のオホーツク海に面し、北半球で最も低緯度で流氷を観察できる地域です。

この海と陸の結びつきが生態系の相互関係を示す顕著な見本であることと、南方系と北方系の生物が混在し、多くの国際的希少種が生息する生物多様性が高く評価され、平成17年7月、日本で3番目の世界自然遺産に登録されました。



〔接岸した流氷に埋め尽くされたオホーツク海〕

北海道森林管理局では、知床世界自然遺産の陸域の9割以上を占める約4万6千ヘクタールにおよぶ国有林を「知床森林生態系保護地域」に指定し、原生的な森林環境の維持・保全に努めています（下図）。



遺産管理者である北海道森林管理局（知床森林生態系保全センター）は、知床世界自然遺産地域科学委員会の助言を得つつ、関係行政機関、漁業・観光関係の団体等と相互に連携・協力を図りながら、遺産管理計画に沿って必要なモニタリング事業等を実施しています。今回は、その主な取組を紹介します。

◆ 知床森林生態系保全センターの主な取組

① サケ類の遡上数等調査及びサケ類の稚魚降下数調査

知床半島の海と陸をつなぐ河川では、大量に遡上するサケ、カラフトマス等は、ヒグマやシマフクロウ、オオワシ、オジロワシなど食物連鎖の頂点に位置する大型哺乳類、猛禽類の重要な餌資源となっており、サケ類の遡上等を確保することが極めて重要となります。このため、改良が適当と判断した河川工作物については、順次改良を実施し、改良後は効果検証のモニタリング調査を行い、サケ類の遡上・産卵状況等の把握及び改良効果を検証していく必要があります。

知床森林生態系保全センターでは、遺産核心地を流れるルシャ川及びテッパンベツ川において、サケ類の遡上数及び産卵床数調査や稚魚降下数調査をそれぞれ隔年で実施しています。



〔サケ類（カラフトマス）の遡上〕

② 淡水魚類相（オショロコマ）生息等調査

知床半島では、ほとんどの河川で河口から上流部まで淡水魚類を代表するサケ科魚類のオショロコマが広く生息しており、シマフクロウなどの野生動物の重要な餌資源にもなっています。

また、水温の変化に非常に敏感なオショロコマの生息状況や河川の水温を長期的に調査することにより、知床の気候変動や生態系への影響などをモニタリングしていく必要があります。



〔河川の中でのオショロコマの様子〕

知床森林生態系保全センターでは、半島内42河川で水温を計測し、河川にオショロコマ等生物相の生息状況を調べるために環境DNA解析のための採水や魚類採捕調査を実施しています。

③ 森林植生等調査事業（広域採食圧調査）及びエゾシカ捕獲事業

知床半島では、エゾシカの採食圧による植生への影響について定期的の実態把握を行い、所要の対策を検討する必要があります。特にエゾシカによる採食や踏みつけによる影響が著しい地区については、エゾシカ侵入防止柵等により地域固有の遺伝子資源を保存するとともに、採食圧の排除に伴う植生の回復状況についてモニタリングを行い、それらの結果も踏まえて保護対策を早急に検討していく必要があります。

知床森林生態系保全センターでは、知床岬、岩尾別、幌別、ウトロ東にエゾシカ侵入防止柵を設置し、その内外に調査区を設定し、生育する植物種等を比較・検討することや、70箇所森林植生のための固定調査区を設定して生育する植物種やエゾシカの食痕等の調査を実施しています。

また、エゾシカ侵入防止柵については、野生動物がその下部の土壌を掘り返した跡や風倒木などで破損した部分の補修を行っています。



〔エゾシカ侵入防止柵の補修状況〕

併せて、森林被害を低減するため、遺産の隣接地域では、エゾシカの捕獲事業も実施しています。



〔野生動物観測調査で撮影されたエゾシカ〕



〔くくりワナ設置の様子〕

これらのモニタリング事業等のほかに、ヒグマの餌となるミズナラ堅果やハイマツ球果の調査、

自動撮影カメラで哺乳類の生息状況調査なども実施しています。

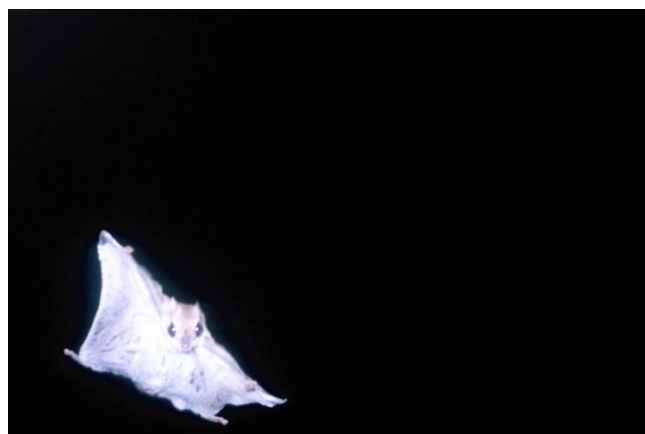
また、地域の教育機関を対象として、改良された河川工作物の見学実習やエゾシカから樹皮の食害を忌避するためのネット巻き体験等も開催しています。



〔今年で 36 年目となるミズナラ堅果調査〕



〔自動撮影カメラで頻繁に撮影されたヒグマ〕



〔自動撮影カメラの奇跡の一枚（エゾモモンガ）〕



〔河川工作物改良についての実習〕



〔国設知床野営場でのネット巻き体験〕

◆おわりに

知床森林生態系保全センターでは、これからも知床の世界自然遺産としての価値をより良い形で後世に引き継いでいけるよう遺産地域の自然環境を将来にわたり適正に保全・管理していく取組を進めて参ります。

- 詳しい調査結果等については、知床森林生態系保全センターホームページに掲載しています。
(<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/sir-etoko/index.html>)

